

TOTO


洗面所用シングルレバー混合栓 LTL380型(TL380型)




商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。






1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)








取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

 注意	
 禁止	<p>湯水を逆配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p> 
	<p>強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p> 
	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 85℃より高温でご使用になると水栓の寿命が短くなり、破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> 

 注意	
 分解禁止	<p>修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p> 
 禁止	<p>寒冷地用 水抜コックは水抜き以外の目的で開けないでください。 水抜コックをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
 必ず実行	<p>寒冷地用 凍結が予想される場所でご使用になる場合は、「8 寒冷地用の水抜き方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。 部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> 

2 仕様

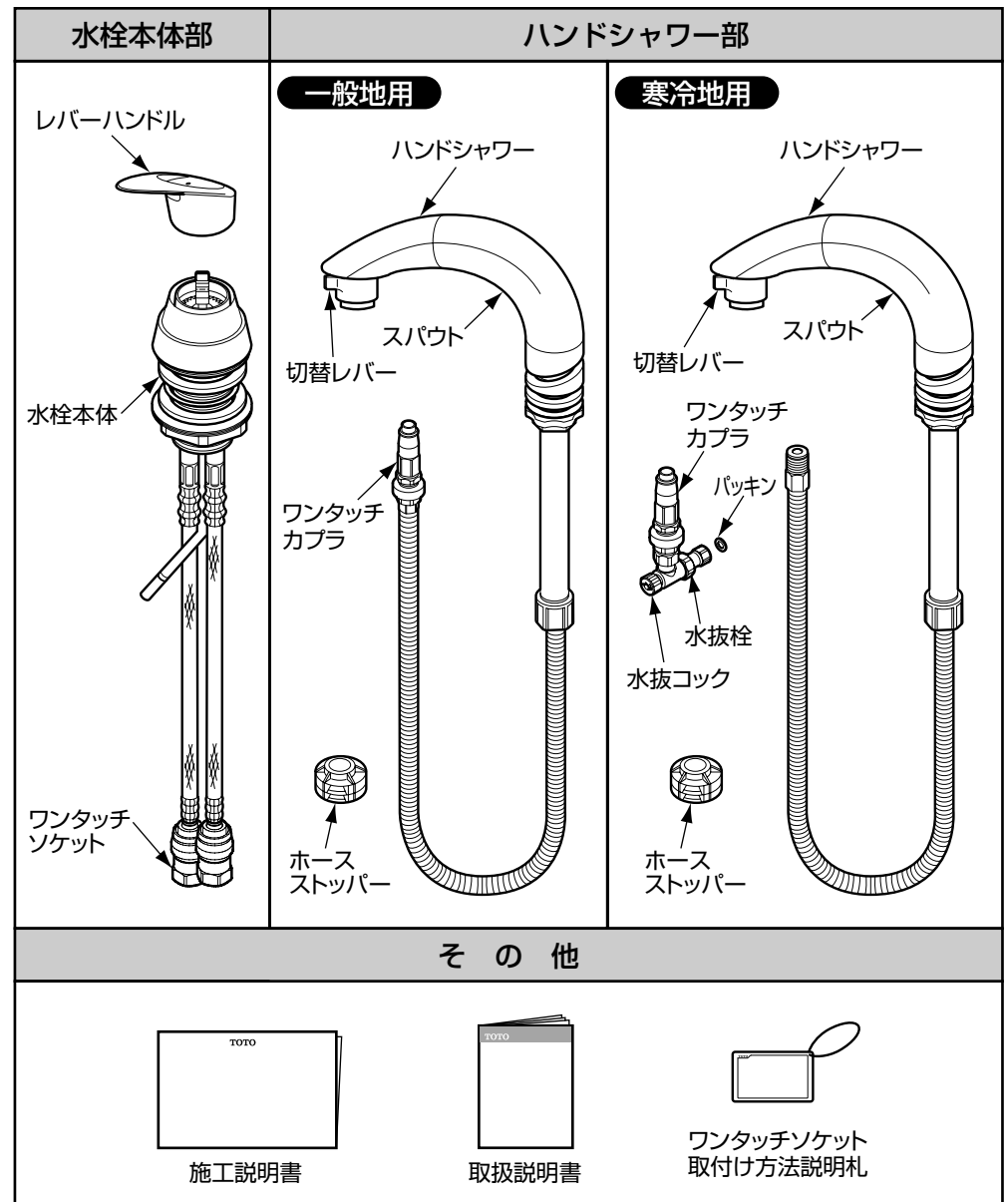
給水・給湯圧力	使用必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	0~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅洗面所用

3 取付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2MPa程度の水圧をおすすめします。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4 部品の確認

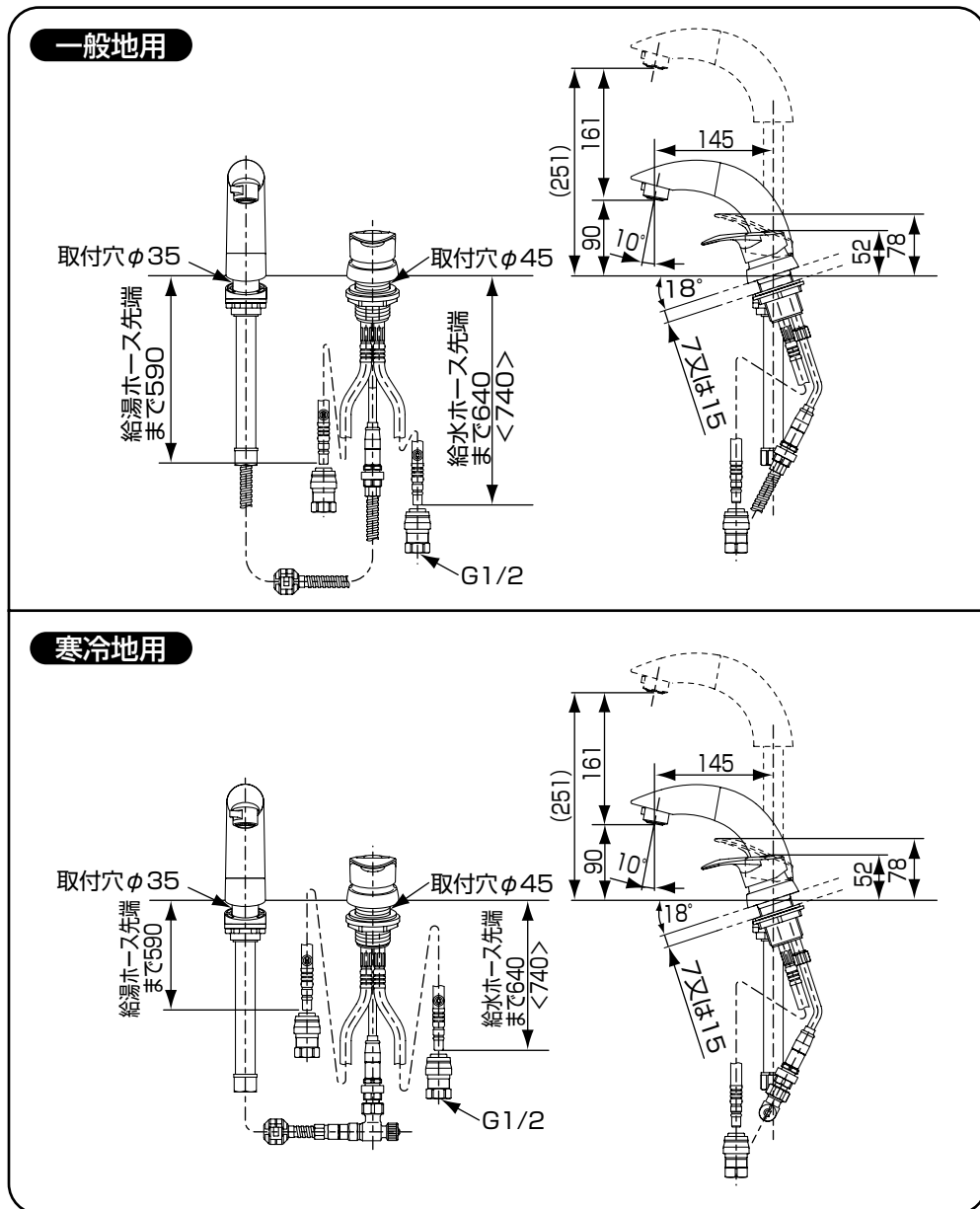
次の部品があることを確認してください。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

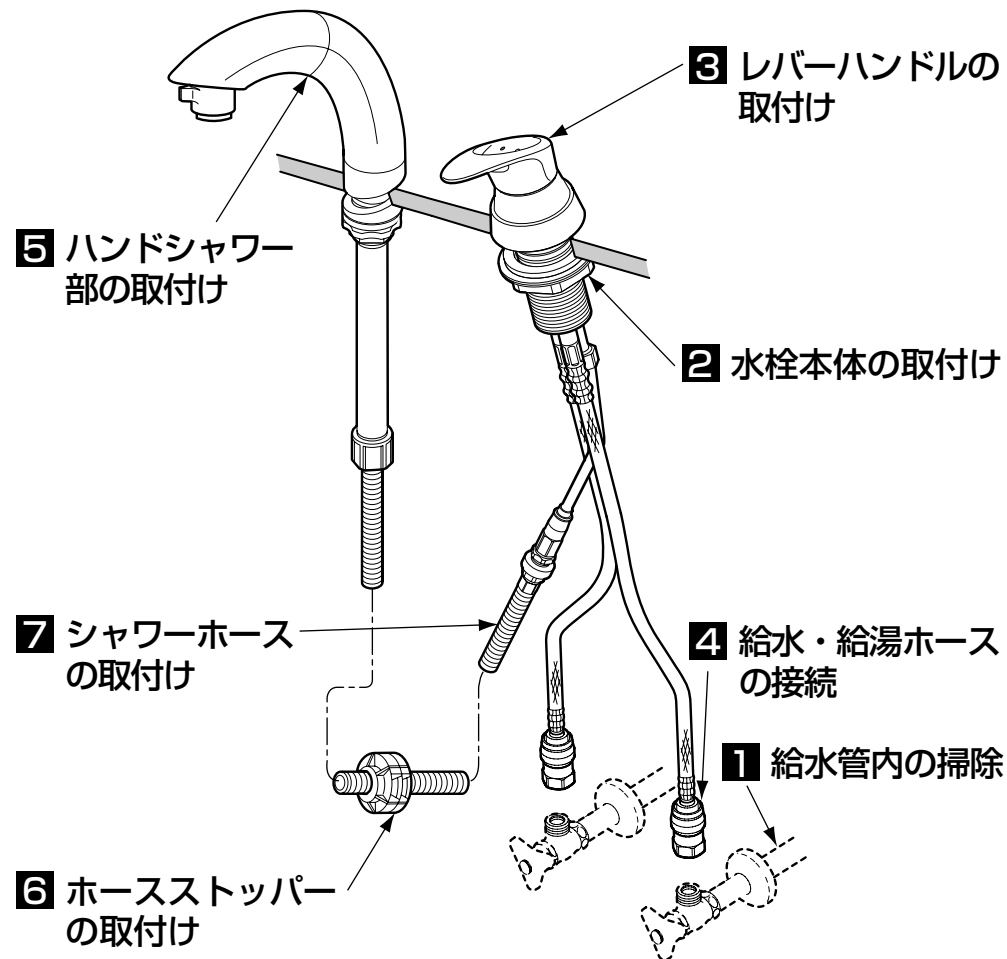
5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



※< >内寸法は電気温水器セットタイプの寸法です。

6-1 施工手順



注意

電気温水器もしくはフットスイッチユニットを組合わせる場合は、電気温水器付洗面化粧台もしくは、フットスイッチユニットに同梱されている施工説明書も合わせて参照してください。

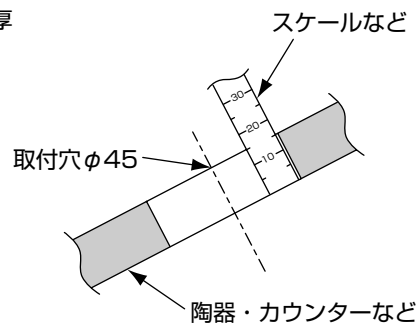
1 給水管内の掃除

器具を取り付ける前に**必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

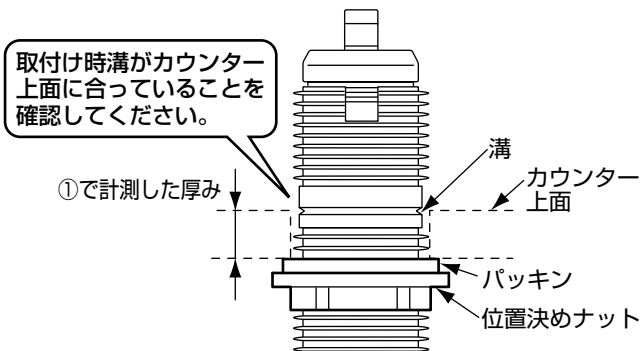
重要

2-1 水栓本体の取付け

- ①取り付ける側(陶器・カウンターなど)の厚みをスケールなどで計測する。



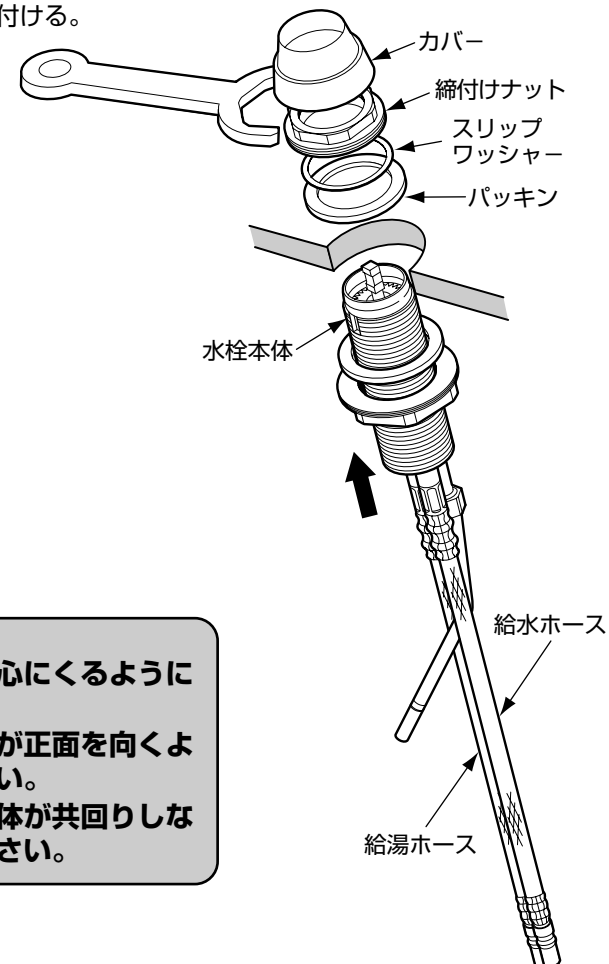
- ②パッキンの上面から溝までの寸法を①で計測した厚みになるように調節する。



- ③水栓本体の取付穴周囲の汚れを取る。

2-2

- ④水栓本体を給水・給湯ホースが正面を向くように下から挿入する。
⑤パッキン・スリップワッシャーを入れ、スパナなどの工具を使用して締付ナットを確実に締め付ける。
⑥カバーを**手締め**にて締め付ける。



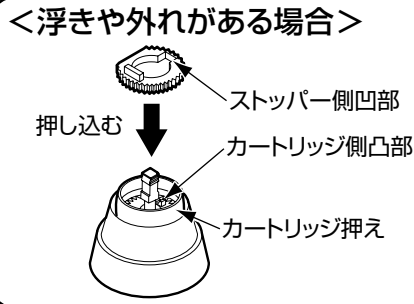
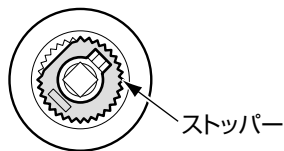
注意

- 水栓本体が取付穴の中心にくるように固定してください。
- 必ず給水・給湯ホースが正面を向くように取り付けてください。
- 締め付ける際、水栓本体が共回りしないように注意してください。

裏面へつづく

3 レバーハンドルの取付け

- ① ストッパーの浮きや外れがないか確認する。
 ※浮きや外れがある場合はカートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押し込んでください。

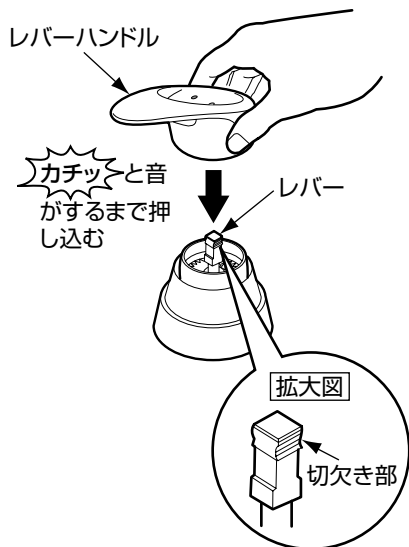


※カートリッジ押えの歯とストッパーの歯が合わないときは、カートリッジ押えを**締め込む方向**にて歯を合わせるように調整してください。

- ② レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。

注意

レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向に注意してください。
 レバーの切欠きは**両サイド**にあります。



- ③ レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

- ④ レバーハンドルを動かし、カバーに当たらないことを確認する。

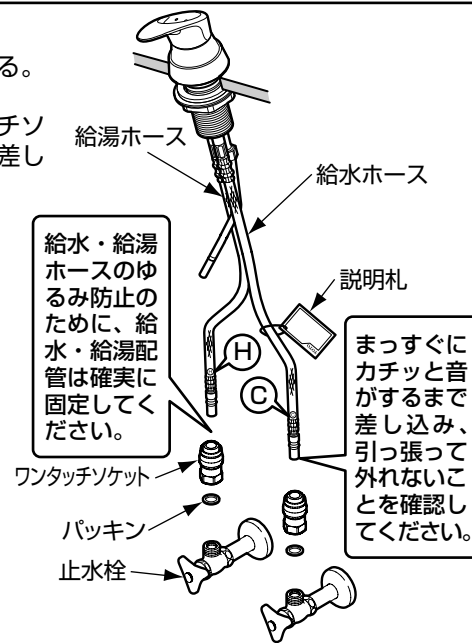
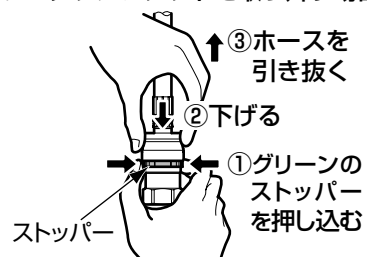
※カバーに当たるときは、**2-1** 水栓本体の取付けを参照の上、位置決めナットを少し下げ、水栓本体を取り付け直してください。

4 給水・給湯ホースの接続

- ① ワンタッチソケットを止水栓に固定する。
 ② 給水・給湯ホースを**まっすぐ**ワンタッチソケットに**カチッ**と音がするまで確実に差し込む。

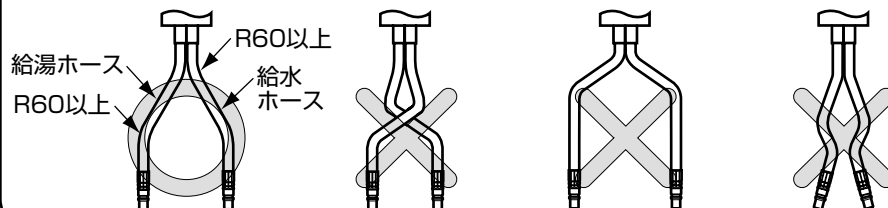
※この際、同梱の「ワンタッチソケット取付け方法」の説明札を必ずホースに通してください。

<ワンタッチソケットを取り外す場合>



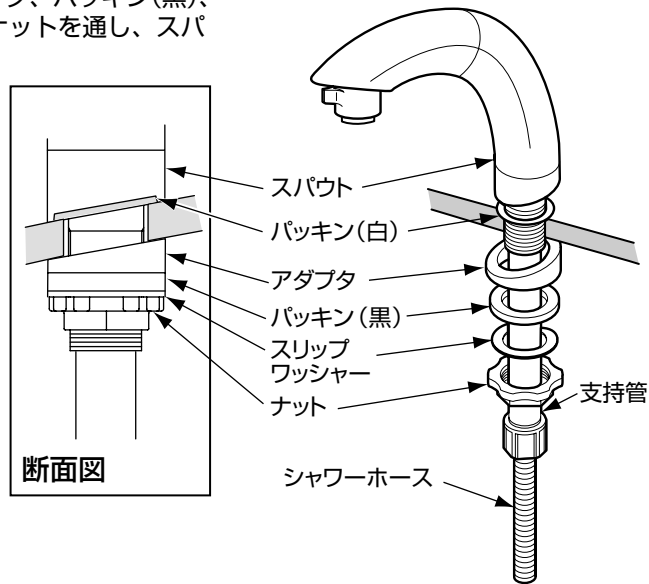
給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを**必要以上の力で曲げて折らないように**注意してください。万一折れた場合は、指でつまんでもとどおりにしてください。
- ホースの折れに、ご注意ください。ホースの**最小曲げ半径は60mm**です。それよりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。
- ホースを**水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで**ください。
- ホースを**無理に引っ張らないで**ください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の**不要な接触は避けて**ください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



5 ハンドシャワー部の取付け

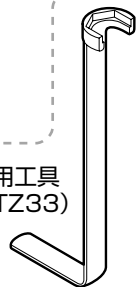
- ①ハンドシャワー部取付穴周囲の汚れをとる。
- ②パッキン(白)裏面のセパレート紙をはがし、支持管が垂直になるように差し込む。
- ③シャワーホースにアダプタ、パッキン(黒)、スリップワッシャー、ナットを通し、スパウトを本固定する。



注意

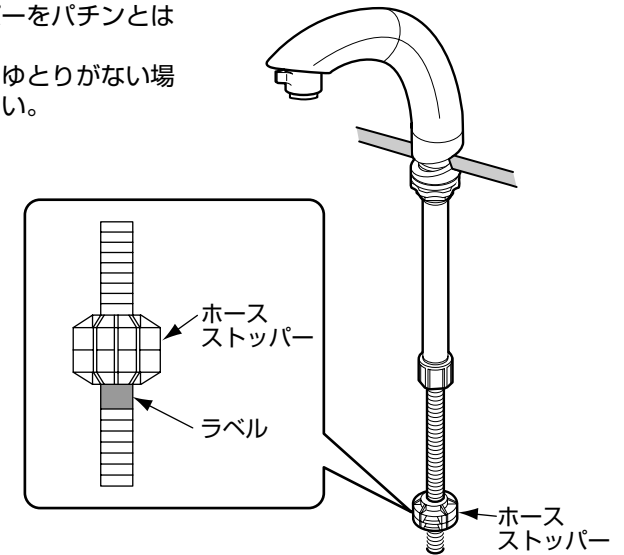
- スパウト及びアダプタは取付面の傾斜角度に方向を合わせた後、ナットを締め付けてください。
- パッキン(白)は必ずカウンターの上に取付けてください。
- 水栓本体が取付穴の中心にくるように固定してください。
- 固定には別売の締付専用工具(TZ33)を利用して確実に締め付けてください。

締付専用工具
(別売：TZ33)



6 ホースストッパーの取付け

- 右図の位置にホースストッパーをパチンとはめ込む。
※ホースを引き出したとき、ゆとりがない場合は適当にずらしてください。

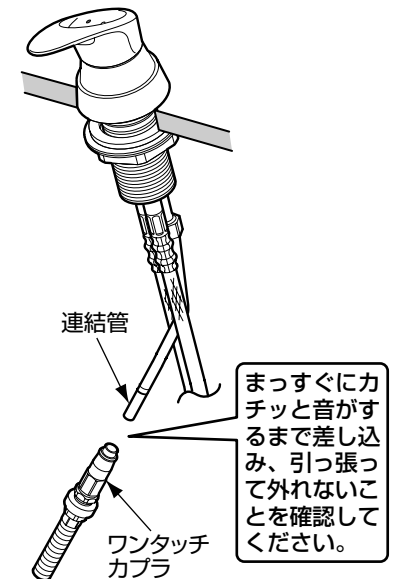
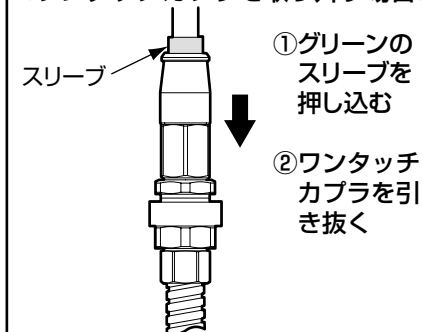


7-1 シャワーホースの取付け

一般地用の場合

ワンタッチカブラを**まっすぐ**連結管に**カチッ**と音がするまで確実に差し込む。

<ワンタッチカブラを取り外す場合>



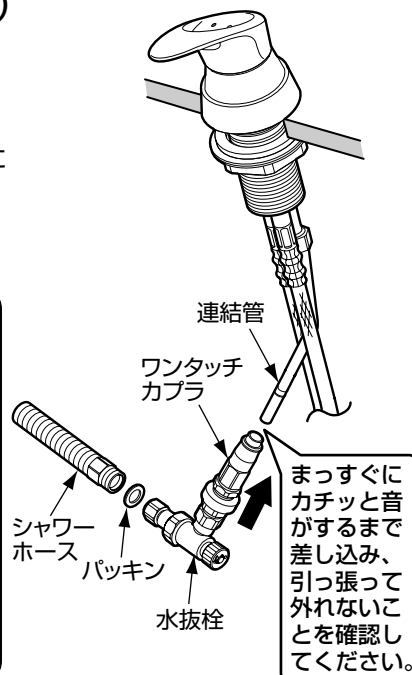
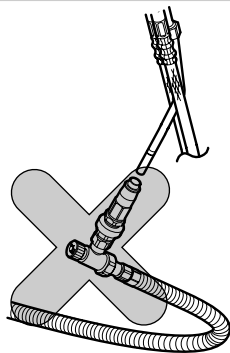
7-2 シャワーホースの取付け(つづき)

寒冷地用の場合

- ①シャワーホースを水抜栓に接続する。
- ②ワンタッチカプラ付水抜栓を**まっすぐ**連結管に**カチッ**と音がするまで確実に差し込む。

注意

シャワーホースの水抜栓の取付方向に注意してください。(シャワーホースが曲がっていたら直してください)



7 使用上の注意

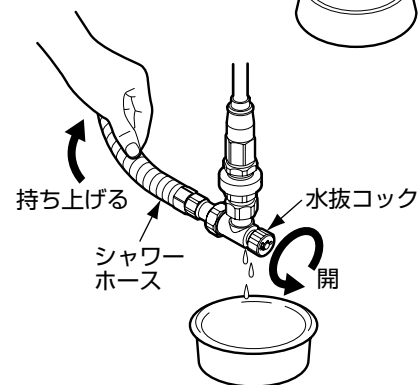
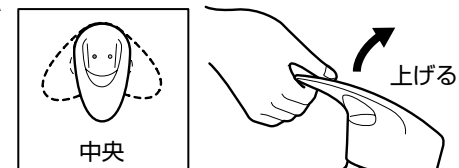
ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません**。お客様に十分ご説明ください。

現象	説明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重たく感じることがあります。	急に水を止めると、「ドン」といった不快な音が発生することがあります。この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたらいっているため、故障ではありません。
お使いはじめにくらべて、しばらく使用されると、ハンドル操作が重く感じてくることがあります。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

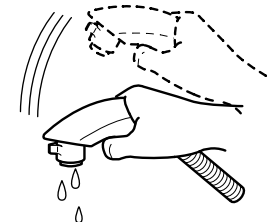
寒冷地用の水抜き方法

凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

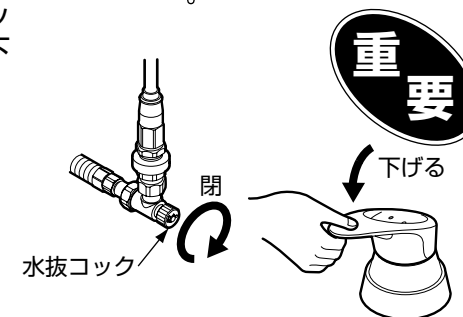
1. 配管部の元栓を閉め、水抜栓を開ける。
2. レバーハンドルを中央位置で上げる。
3. 水抜コックを開ける。
4. シャワーホースを持ち上げホース内の水を抜く。



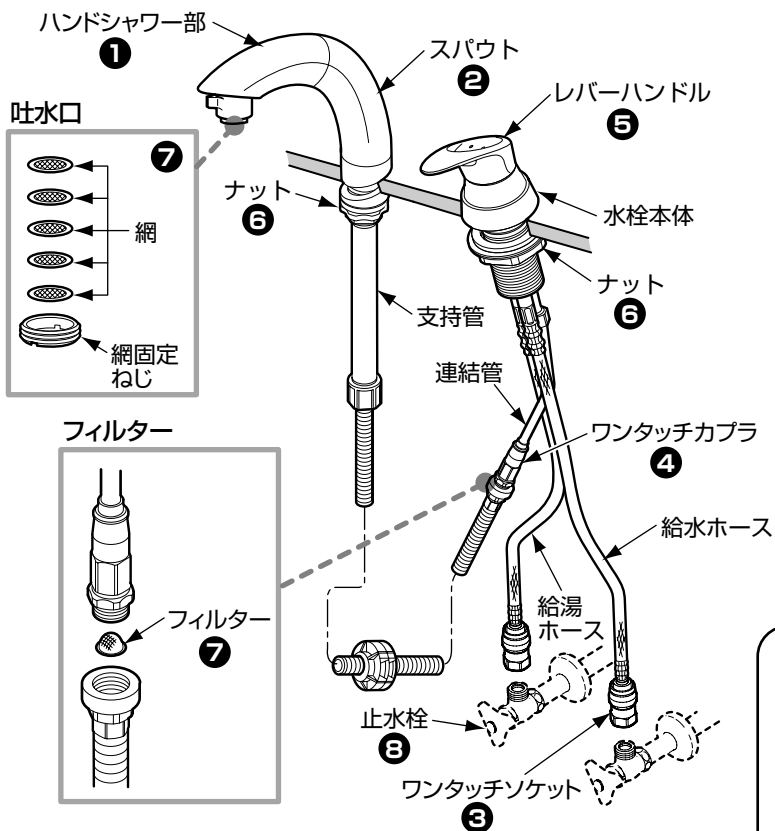
5. ハンドシャワーを引き出し、よく振って水を切ってから洗面器の底に置く。



6. 水抜き完了後は、必ず水抜コックを閉め、レバーハンドルを下げる。(水が出ない状態)

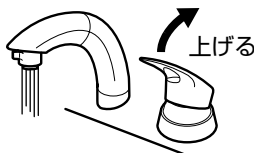


取付けが完了した後、次の項目を確認してください。



水出し確認

配管部の元栓を開け、ハンドシャワーから水が出るか確認してください。



動作確認

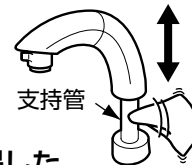
ハンドシャワーがスムーズに引き出せるか、またスパウトがスムーズに上げ下げできるか確認してください。

① ハンドシャワーは洗面ボールの先端付近まで引き出せますか？



↳ シャワーホースが止水栓や排水金具に干渉していないか確認する。

② 支持管がきちんと上げ下げでき、固定できますか？



↳ 水又はぬるま湯に浸した布をよく絞って、支持管を拭く。

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

③ 給水・給湯ホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか？

↳ 6-3 - ④「給水・給湯ホースの接続」参照

④ ワンタッチカプラは連結管にしっかり差し込まれていますか？

↳ 6-4 - ⑦「シャワーホースの取付け」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

⑤ レバーハンドルはしっかり差し込まれていますか？
カバーは当たりませんか？

↳ 6-3 - ③「レバーハンドルの取付け」参照

⑥ 水栓本体及びハンドシャワー部のナットは確実に締め付けていますか？

↳ 6-2 - ②-1「水栓本体の取付け」参照
↳ 6-4 - ⑤「ハンドシャワー部の取付け」参照

流量及び吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

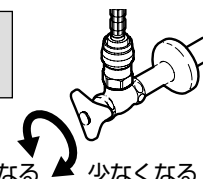
⑦ 吐水口・フィルターのごみつきはありませんか？

↳ 吐水口・フィルターの掃除をする。



⑧ 止水栓は開いていますか？

↳ 止水栓で流量を調節する。 多くなる ← 少くなる



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。